

情報工学部生命化学情報工学科 教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

（１）知識・理解

【専門的知識・理解】

生命科学・情報科学および情報処理技術を組み合わせ、化学・食品・製薬などの分野に加え、医療・環境・エネルギーなどの新規産業創出に貢献する新しい学際分野、生命化学情報工学に関する幅広い知識を修得させるため、基礎科目・情報技術者科目・専門科目の教育を実施する。

【多様性ある文化等の知識・理解】

広い視野と深い教養を備え、国際性と社会性を備えた豊かな人間性を有するように教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

生命化学情報工学・技術が社会に果たす役割を理解できるように教育を実施する。

（２）汎用的技能

【基礎的な問題解決スキル】

創造的な応用力と自律的な課題探求能力を身に付けさせるため、基礎科目・情報技術者科目・専門科目の教育を実施する。

【コミュニケーションスキル】

論理的な思考能力とコミュニケーション能力を身に付けるように教育を実施する。

（３）態度・志向性

【技術者の基本的態度・志向】

バイオ技術や情報化が自然や社会に及ぼす影響に関心を持ち、責任ある社会的活動のできる技術者倫理を身に付けるように教育を実施する。

【自律性とチームワーク志向】

チーム活動において、自己のなすべき行動を的確に判断し実行し、他者がとるべき行動を判断して適切に働きかけることができるように教育を実施する。